

## 青年期結核症ニ關スル研究 (第4報)

## 第一編 BCG非接種群ニ於ケル青年期結核症

(昭和18年10月10日受領)

東京鐵道局體力管理室(指導 岡治道博士)

千葉保之  
所澤政夫

## 目次

第十六章 陽轉發見後始メテ見出シタ結核竈ノ發見迄ノ期間ト其病型	第二十章 肋膜炎發見迄ノ期間
第十七章 肺門淋巴腺腫脹發見迄ノ期間	第二十一章 肺尖結核竈發見迄ノ期間
第十八章 初期變化群發見迄ノ期間	第二十二章 結核性腹膜炎發見迄ノ期間
第十九章 初期浸潤發見迄ノ期間	小括

## 第十六章 陽轉發見後始メテ見出シタ結核竈ノ發見迄ノ期間ト其病型

既ニ第4章ニ於テ陽轉者カラノ陽轉發見後ノ結核竈發見率ト其發見時病型ニ就イテ報告シタガ、本章ニ於テハ、陽轉發見後始メテ認メタ結核竈ニ就イテノ發見迄ノ期間ヲ中心トシテ觀察シタモノデ、被檢例及ビ検査方法ハ同章ニ於ケルト同様デアル。

1. 最終陰性時カラ陽轉發見迄3ヶ月以内ノモノ丈ニ就イテハ、第49表ニ示ス様デアル。

結核竈發見例ハ被檢陽轉者1906名中302例(16%)デアルガ、之ヲ陽轉發見後ノ検査期別即チ結核竈發見迄ノ期間別ニ其發見率ヲ觀ルト、陽轉發見時ニ於テ既ニ189例(10%)ノ過半數ヲ發見シタ。次ニ陽轉發見時結核竈ヲ認メナカツタ者ノ更ニソノ後3ヶ月ニ検査シタガ此場合ノ未檢者ハ、未ダソノ検査期ニ達シナイ數ノ者及ビ應召轉勤等ニ依リ検査不能ニナツタ健康者デ病氣ノ爲、検査洩レトナツタ例ハ存在シナカツタ。此等ヲ除キ受檢者1464名ニ就イテハ、結核竈發見率ハ4%ヲ示シ、陽轉發見時ニ較ベ一段ト低イ。更ニ、コノ陽轉發見後3ヶ月ニ至ツテ

モ尙病竈ヲ認メ得ナカツタ者ノ中、其後3ヶ月即チ陽轉發見後6ヶ月ニ検査シ得タ例ニ就イテハ、其發見率ハ3%ヲ示シ亦、稍々低イ。勿論、此場合ノ未檢者モ前回同様、結核症以外ノ理由ニ依ルモノデ、スベテ健康者ノミデアル。同様ニシテ、陽轉發見後9ヶ月ノ發見率ヲ觀ルト1.5%ヲ示シ、一層低率ニ降り、陽轉發見後12ヶ月ニ於テハ0.8%ヲ示シタ。然ルニ其後ニ至ルト、未ダ1例ノ新發見例ニモ遭遇シテ居ナイ。即チ、陽轉者ノ豫後ハ、陽轉發見時ニ於テ最モ病竈發見率が高イガ、以後ハ、加速度的ニ急低下ノ傾向ヲ示シ、陽轉發見後12ヶ月以上ヲ經ルト、全ク、ソノ發見ヲ見ナカツタ。コノ關係ハ、對數「グラフ」ニ依ツテ圖示スルト、第19圖ニ示ス様デ、一層、著明ニ觀取サレル。又、以上、各検査時期ノ發見率間ノ差異ニ就イテ  $\frac{M_1 - M_2}{\sqrt{m_1^2 + m_2^2}}$  ノ式ニ依ツテ、其有意性ヲ検討スル、第50表ニ示ス如ク、陽轉發見時トソノ後3ヶ月ニ於テハ、ソノ値6.9ニシテ有意性ヲ認メルガ、陽轉發見後3ヶ月ト6ヶ月トノ間ニ

第 49 表 陽轉發見後始メテ見出セル病竈ノ發見迄ノ期間ト病型(其一)  
(最終陰性時ヨリ陽轉發見迄 3 ヶ月以内ノ例)

陽轉後ノ検査時期	検査人員	病 竈			
		肺門淋巴腺腫脹	初期變化群	初期浸潤	
陽轉發見時	實 數 検査人員ニ對スル%	1906 100.0	76 3.99±0.45	57 2.99±0.39	28 1.47±0.28
陽轉發見後 3 ヶ月	實 數 検査人員ニ對スル%	1464 100.0	2 0.14±0.10		13 0.89±0.25
6 ヶ月	實 數 検査人員ニ對スル%	1064 100.0			12 1.13±0.32
9 ヶ月	實 數 検査人員ニ對スル%	819 100.0			5 0.61±0.27
12 ヶ月	實 數 検査人員ニ對スル%	596 100.0			4 0.67±0.33
13—24 ヶ月	實 數 検査人員ニ對スル%	210			
計	實 數 検査人員ニ對スル%	1906 100.0	78 4.09±0.45	57 2.99±0.39	62 3.25±0.41
	病竈アルモノニ對スル%		25.83±2.52	18.88±2.25	20.53±2.32

肋膜炎ヲ伴ヘルモノ					肺外結核		計	
他ニ病竈ナキモノ	肺門淋巴腺腫脹	初期變化群	初期浸潤	ソノ他	肋膜炎	ソノ他	實 數	病竈アルモノニ對スル%
16	7	1	4				189	62.58±2.78
0.84±0.21	0.37±0.14	0.05±0.05	0.21±0.10				9.92±0.68	
38			1	2*	2	1**	59	19.54±2.28
2.60±0.42			0.07±0.07	0.14±0.10	0.14±0.10	0.07±0.07	4.03±0.51	
22			1⊕		1	1⊕⊕	37	12.25±1.89
2.07±0.44			0.09±0.09		0.09±0.09	0.09±0.09	3.48±0.56	
7							12	3.97±1.12
0.85±0.82							1.47±0.42	
1							5	1.66±0.74
0.17±0.17							0.84±0.36	
84	7	1	6	2	3	2	302	100.0
4.40±0.47	0.37±0.14	0.05±0.05	0.31±0.31	0.10±0.07	0.16±0.09	0.10±0.07	15.84±0.84	
27.81±2.53	2.32±0.86	0.33±0.31	1.99±0.81	0.66±0.48	0.99±0.57	0.66±0.48	100.0	

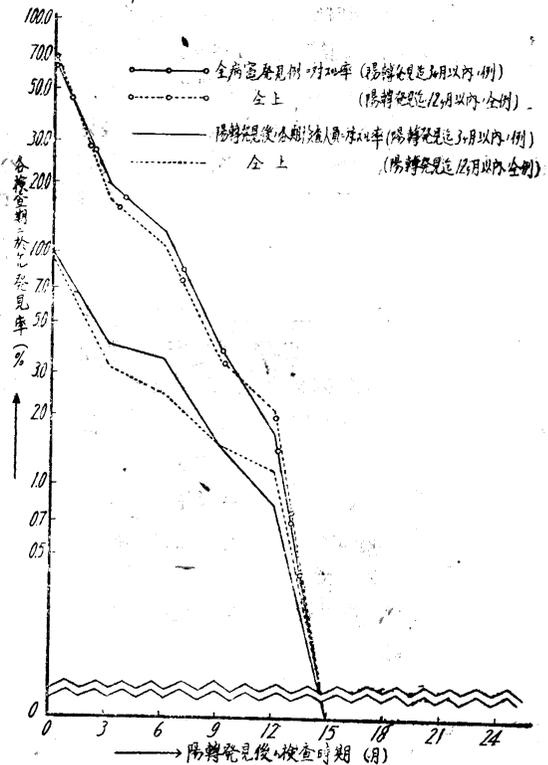
\* 肋膜炎＋結核性腹膜炎 \*\* 結核性關節炎 ⊕ 肋膜炎＋初期浸潤＋結核性腹膜炎 ⊕⊕ 結核性腦膜炎  
 註 検査人員數が陽轉發見時カラソノ後ノ各期ニ至ルニ從ツテ減員シテ居ルノハ 陽轉發見後未ダ各期検査ノ  
 時期ニ達シナイモノ、病竈發見例及ビ應召轉動等ヲ検査不能ニ陥ツタ健康者ガ 除カレテ居ル爲デアル。  
 然シ病氣ノ爲ニ検査洩レトナツタ例ハ存在シナイ。

2. 病型ハスベテ陽轉發見後始メテ發見シタ病竈ノ病型ヲ示シ諸他竈ニ續乃至後發シタモノハ含マナイ

第 50 表 各検査期ニ於ケル發見率  
 間差異(其一) (第 49 表ノ例)

各時期ニ於ケル發見率間ノ差異	$M_1 \sim M_2$ $\sqrt{\frac{m_1^2 + m_2^2}{n}}$	有意性ノ有無
陽轉發見時ニ對シテ陽轉發見後 3 ヶ月	6.9	有
陽轉發見後 3 ヶ月ニ對シテ陽轉發見後 6 ヶ月	0.7	無
陽轉發見後 6 ヶ月ニ對シテ陽轉發見後 9 ヶ月	2.9	無
陽轉發見後 9 ヶ月ニ對シテ陽轉發見後 12 ヶ月	1.1	無
陽轉發見後 3 ヶ月ニ對シテ陽轉發見後 9 ヶ月	3.9	有
陽轉發見後 6 ヶ月ニ對シテ陽轉發見後 12 ヶ月	4.0	有

第 19 圖 陽轉發見後始メテノ結核竈發見迄ノ期間



於テハ、0.7ヲ示シ有意性ヲ認メ得ナイ。併シ、陽轉發見後 3 ヶ月ト 9 ヶ月ニ於テハ、5.9  
 6 ヶ月ト 12 ヶ月トニ於テハ 4.0ヲ示シ、何レモ其有意性ヲ認メル。即チ、何レニセヨ、病  
 竈發見率ガ、陽轉發見時カラノ時間的距離  
 ノ長クナルニ從ヒ、順次、減少スル傾向ハ、  
 統計學上カラモ、有意的ニ觀テセラレルコ  
 トデアル。

次ニ、結核竈發見全 302 例ノミニ就イテ、ソノ  
 發見迄ノ期間ノ關係ヲ觀ルト、陽轉發見時ニ、  
 其 93%ノ過半數ガ發見サレ、ソノ後 3 ヶ月ニハ  
 20%、6 ヶ月 12%、9 ヶ月 4%、12 ヶ月 2%  
 ヲ檢出シタ。即チ、其 94%迄ガ 6 ヶ月以内ニ、  
 既ニ發見サレテ居ル。併シ、コノ病竈發見例ノ  
 ミニ就イテハ、續報ニ於テ觀察期間別ニ、考  
 究スル積リデアルガ、圖示スルト上掲第 19 圖  
 ニ觀ル如ク、ソノ曲線ハ、モトヨリ、急降下ヲ  
 示ス。

何レニセヨ、陽轉者カラノ發見率ハ、陽轉時カ  
 ラノ時間的距離ニ逆比例シテ、急ニ減少スルコ  
 トガ觀取サレル。

陽轉發見後始メ 認メラレル病竈ノ病型ヲ、ソ  
 ノ發見迄ノ期間別ニ比較スルト次ノ様デアル。  
 即チ、陽轉發見時ノ病型ハ、ソノ検査人員全員  
 ニ對シ、肺門淋巴腺腫脹 4%、初期變化群 3%、  
 初期浸潤 1%、肋膜炎ノミノモノ亦 1%、諸他  
 ノ病竈ヲ伴フモノニ於テハ、肺門淋巴腺腫脹  
 0.4%、初期變化群 0.1%、初期浸潤 0.2%ヲ占

メ、肺門淋巴腺腫脹及ビ初期變化群ハ比較的高率デアルガ、初期浸潤及ビ肋膜炎ハ低率デ、肺外結核ハ、遂ニ1例モ發見シ得ナカシタ。然ルニ、ソノ後3ヶ月ニ至ルト、肺門淋巴腺腫脹ハ0.1%初期變化群ハ發見サレテ居ナイノニ反シ、初期浸潤1%諸他ノ病竈ヲ認メナイ肋膜炎3%肋膜炎ヲ伴フモノニ於テ初期浸潤0.1%結核性腹膜炎0.1%、肺外結核ノミノモノニ於テハ腹膜炎0.1%、ソノ他(關節炎)0.1%ヲ示シ、陽轉發見時トハ異リ、初期浸潤及ビ肋膜炎比較的高率ヲ示シ、又、肺外結核モ發見シタ。陽轉發見後6ヶ月ニ至ルト、初期浸潤1%、諸他ノ病竈ヲ認メナイ肋膜炎2%、肋膜炎ヲ伴ツタ初期浸潤0.1%、肺外結核ノミノモノハ、腹膜炎0.1%腦膜炎亦0.1%ヲ示シタガ、肺門淋巴腺腫脹及ビ初期變化群ハ何レモ見出シ得ナカッタ。陽轉發見後9ヶ月ニ於テハ、初期浸潤0.6%諸他竈ヲ伴ハナイ肋膜炎0.9%ヲ占メ、其他ノ病竈ハ認メナカッタ。陽轉發見後12ヶ月ニ於テモ、同様デ、初期浸潤0.7%、肋膜炎0.2%ヲ發見シタ丈デアル。即チ、陽轉發見時ニ發見サレル病竈トシテハ、肺門淋巴腺腫脹及ビ初期變化群比較的高率ヲ示シ、ソノ後3ヶ月ニ始メテ發見サレル病竈トシテハ、初期浸潤及ビ肋膜炎多ク、肺外結核ハコノ期ニ及ンデ始メテ發見サレタ。更ニ6ヶ月ニ於テ始メテ發見サレタ病竈トシテハ、肺門淋巴腺腫脹及ビ初期變化群ハ1例モ認メラレズ、依然、初期浸潤及ビ肋膜炎ガ高率デ、ソノ他ハ、肺外結核ノ少數例ノミ。更ニ又9ヶ月及ビ12ヶ月ニ至ルト、専ラ、初期浸潤及ビ肋膜炎丈ニ限ラレテ居ルヲ觀取シタ。

2. 最終陰性時カラ陽轉發見迄4—6ヶ月ノモノニ就イテ同様ニ取り扱フト、第51表ニ示ス様デアル。即チ、各期検査人員ニ對シテハ、陽轉發見時8%ノ病竈發見率ヲ示シ、ソノ後3ヶ月ニハ3%、6ヶ月2%、9ヶ月亦2%、12ヶ月1%ヲ示シ、ソノ後ニ至ツテハ新發見例ハナカッタ。病竈發見例ノミニ就4テ觀ルト、陽轉發見時71%ソノ後3ヶ月15%、6ヶ月7%、9

ヶ月5%、12ヶ月2%ノ發見率ヲ示シ、其98%迄ガ6ヶ月以内ニ見出サレタ。病型ニ就イテハ、陽轉發見時ニハ、肺門淋巴腺腫脹(3%)及ビ初期變化群(2%)ハ比較的ニ發見サレタガ、ソノ後ニ至ツテハ1例ノ發見モナク、反之、初期浸潤及ビ肋膜炎ハ、12ヶ月ニ至ル迄發見サレタ。肺外結核ハ、陽轉發見後3ヶ月ニ於テ始メテ發見サレテ居ル。

以上ヲ通覽スルト、陽轉發見迄3ヶ月以内ノ例ノモノト、殆ンド同様ノ關係ヲ示シテ居ル。コレハ、モトヨリ、陽轉發見迄4—6ヶ月ノ例テハ、ソノ陽轉發見ノ時期ガ、殆ンドスベテ冬及ビ春デアリ、第5章ニ述ベタ如ク、陽轉率ハコノ時期ニ高ク、秋ニ低カッタ事實ニ照合シテ、相當多クノ例ハ、未ダ陽轉後ノ經過期間ハ比較的短ク寧ロ陽轉ヲ3ヶ月以内ニ發見シタ例ニ近似シテ居ルモノガ多カッタコトニ因ルコト大ト思ハレルガ、又既ニ4—6ヶ月前ノ早クヨリ陽轉シ、ソノ後病竈消褪乃至續發シタモノモ少數例ニアツテ、コレ等ガ若干相殺シテ居ル可能性モアル等ノコトガ考ヘラレル。

3. 最後ニ陽轉發見迄7—12ヶ月ノ例モ含メ、12ヶ月以内ノ全例ヲ集計スルト、第52表ニ觀ル如クデアル。但シ、陽轉發見迄ノ期間ガ7—12ヶ月ニ及ンデ居ル者ニ就イテモ、ソノ陽轉發見ノ時期ハ、殆ンドスベテ冬及ビ春ノモノデ、秋ニ當ツタモノハ1例モナカッタ。

各期ノ検査人員ニ對スル病竈發見率ハ、陽轉發見時、既ニ9.2%ソノ後3ヶ月3.2%、6ヶ月2.5%、9ヶ月1.5%、12ヶ月1.2%ヲ示シ、ソレ以後ニ於テハ亦、陽轉發見後2ヶ年以上モ觀察シテ居ルガ、未ダ、新發見例ヲ見ナイ。コレキノ比率間ノ差異ニ就イテハ、第53表ニ示ス如ク、陽轉發見時トソノ後3ヶ月、3ヶ月ト9ヶ月トノ間ニハ夫々有意性ヲ認メ得タ。

病竈發見例ノミニ就4テ觀ルト、ソノ發見率ハ、陽轉發見時67%、ソノ後3ヶ月17%、6ヶ月10%、9ヶ月4%、12ヶ月2%ヲ示シ、陽轉發見時既ニ其%、6ヶ月以内ニ其9割餘モ發見

第 51 表 陽轉發見後始メテ發見セル病竈ノ發見迄ノ期間ト病型(其二)  
(最終陰性時ヨリ陽轉發見迄 4—6 ヶ月ノ例)

陽轉後ノ検査時期	検査人員	病 竈			
		肺門淋巴腺腫脹	初期變化群	初期浸潤	
陽轉發見時	實 數	1122	31	24	13
	検査人員ニ對スル%	100.0	2.76±0.49	2.14±0.43	1.16±0.32
陽轉發見後	實 數	659			4
3 ヶ月	検査人員ニ對スル%	100.0			
6 ヶ月	實 數	580			3
	検査人員ニ對スル%	100.0			
9 ヶ月	實 數	309			3
	検査人員ニ對スル%	100.0			
12 ヶ月	實 數	244			3
	検査人員ニ對スル%	100.0			
13—24 ヶ月	實 數	105			
	検査人員ニ對スル%				
計	實 數	1112	31	24	26
	検査人員ニ對スル%	100.0	2.76±0.49	2.14±0.43	2.32±0.45
	病竈アルモノニ對スル%		24.22±3.79	18.75±3.45	20.31±3.56

認 め る モ ノ					肺 外 結 核		計	
他ニ病竈ナキモ少	肺門淋巴腺腫脹	初期變化群	初期浸潤	ソノ他	腹膜炎	ソノ他	實 數	病竈アルモノニ對スル%
14	4	4	1				91	71.09±4.01
1.52±0.33	0.36±0.18	0.36±0.18	0.09±0.09				8.11±0.81	
10			3	1*	1		19	14.84±3.14
							2.88±0.65	
6							9	7.03±2.26
							1.55±0.52	
2			1				6	4.69±1.87
							1.94±0.78	
							3	2.34±1.32
							1.23±0.70	
							0	
32	4	4	5	1	1		128	100.0
2.85±0.50	0.36±0.18	0.36±0.18	0.45±0.20	0.09±0.09	0.09±0.09		11.41±0.95	
25.00±3.83	3.13±1.53	3.13±1.53	3.91±1.71	0.78±0.79	0.78±0.79		100.0	

\* 肋膜炎ヲ結核性肋膜炎

註 1. 検査人員カ各検査時期毎ニ減員シテ居ルノハ第 49 表ニ於ケルト同様デ、病氣ノ爲検査洩レトナツテ例ハ存在シナイ。

2. 病型ハスベテ陽轉發見後始メテ發見シタ病竈ノ病型ヲ示ス

第 52 表 陽轉發見後始メテ發見シタ病竈ノ發見迄ノ期間ト病型(其三)  
(最終陰性時ヨリ陽轉發見迄 0—12 ヶ月ノ例)

陽轉後ノ検査時期	検査人員	病 竈			
		肺門淋巴腺腫脹	初期變化群	初期浸潤	
陽轉發見時	實 數	3745	115	98	60
	検査人員ニ對スル%	100.0	3.07±0.28	2.62±0.26	1.60±0.21
陽轉發見後	實 數	2704	2		23
	検査人員ニ對スル%	100.0	0.07±0.05		0.85±0.18
3 ヶ月	實 數	2168			19
	検査人員ニ對スル%	100.0			0.88±0.20
6 ヶ月	實 數	1258			9
	検査人員ニ對スル%	100.0			0.72±0.24
9 ヶ月	實 數	935			10
	検査人員ニ對スル%	100.0			1.07±0.34
12 ヶ月	實 數	383			
	検査人員ニ對スル%				
13—24 ヶ月	實 數	3745	117	98	121
	検査人員ニ對スル%	100.0	3.12±0.28	2.62±0.26	3.23±0.29
計	病竈アルモノニ對スル%		22.82±1.85	18.96±1.73	23.40±1.86

認		メ		タ		ル		モ		ノ	
肋膜炎ヲ伴ヘルモノ		肺門淋巴腺腫脹		初期變化群		初對浸潤		ソノ他		計	
他ニ病竈ナキモノ	肺門淋巴腺腫脹	初期變化群	初對浸潤	ソノ他	腹膜炎	ソノ他	實	病竈アルモノニ對スル%			
44	13	6	10				346	66.92±2.07			
1.17±0.18	0.35±0.10	0.16±0.07	0.27±0.08				9.24±0.47				
51			4	3	3	1	87	16.83±1.64			
1.89±0.26			0.15±0.07	0.11±0.06	0.11±0.06	0.04±0.04	3.22±0.34				
32			1		1	1	54	10.44±1.34			
1.48±0.26			0.05±0.55		0.05±0.05	0.05±0.05	2.49±0.34				
9			1				19	3.68±0.83			
0.72±0.24			0.08±0.08				1.51±0.43				
4							11	2.13±0.63			
0.11±0.11							1.18±0.36				
							0				
137	13	6	16	3	4	2	517	100.0			
3.66±0.31	0.35±0.10	0.16±0.07	0.43±0.11	0.08±0.05	0.11±0.05	0.05±0.04	13.81±0.56				
26.50±1.94	2.51±0.69	1.16±0.48	3.09±0.76	0.56±0.34	0.77±0.39	0.39±0.28	100.0				

註 1. 検査人員が各期毎ニ減員シテ居ルノハ第 49 表ニ於ケルト同様デ、病氣ノ爲検査洩レトナツタ例ハ存在シナイ。  
2. 病型ハスベテ陽轉發見後始メテ發見シタ病竈ノ病型ヲ示ス

第 53 表 各時期ニ於ケル發見率間ノ差異(其二)  
(第 52 表ノ例)

各時期ニ於ケル發見率 間ノ差異	$\frac{M_1 - M_2}{\sqrt{m_1^2 + m_2^2}}$	有意性ノ有無
陽轉發見時ニ對シテ陽 轉發見後 3 ヶ月	10.4	有
陽轉發見後 3 ヶ月ニ對 シテ陽轉發見後 6 ヶ月	1.5	無
陽轉發見後 6 ヶ月ニ對 シテ陽轉發見後 9 ヶ月	2.0	無
陽轉發見後 9 ヶ月ニ對 シテ陽轉發見後 12 ヶ月	0.7	無
陽轉發見後 3 ヶ月ニ對 シテ陽轉發見後 9 ヶ月	3.6	有
陽轉發見後 6 ヶ月ニ對 シテ陽轉發見後 12 ヶ月	2.6	無

シテ居ルコトハ、注目ニ値スルコト、思フ。尙、  
發見率ヲ圖示スルト、上掲第 19 圖ニ觀ル如ク、  
陽轉發見迄 3 ヶ月以内ノモノト殆ンド同型ヲな  
シテ、急降下スル曲線ヲ描イタ。

第十七章 肺門淋巴腺腫脹發見迄ノ期間

陽轉發見後、肺門淋巴腺腫脹ヲ發見スル迄ノ期  
間ヲ中心トシテ觀ルト、次ノ様デアル。検査對  
象及ビ検査方法ハ前章ニ於ケルト同様デアル。  
最終陰性時カラ陽轉發見迄 3 ヶ月以内ノモノニ

次ニ病型ニ就イテ觀テモ、矢張り同様デ、陽轉  
發見時ニ、肺門淋巴腺腫脹及初期變化群ハトモ  
ニ 3%ヲ示シ、初期浸潤(2%)肋膜炎ノミノモ  
ノ(1%)ニ較ベルト稍々多イ。然ルニソノ後 3  
ヶ月ニ於テハ、肺門淋巴腺腫脹ハ僅カニ 0.1%  
初期變化群ハ發見サレナカツタガ、初期浸潤 1  
%肋膜炎ノミノモノ 2%ヲ示シ、肺外結核モ始  
メテ發見シタ。ソノ後ニ於テハ、肺門淋巴腺腫  
脹及ビ初期變化群ハ發見サレズ、初期浸潤、肋  
膜炎及ビ少數ノ肺外結核ノミヲ見出シタ。  
以上ヲ通覽スルト、要スルニ、陽轉發見時ニ於  
テハ、病竈發見率モ極メテ高く、病竈モ肺門淋  
巴腺腫脹及ビ初期變化群比較の多數ヲ占メタ  
ガ、ソノ後陽轉發見時カラノ時間的距離ニ逆比  
例シテ發見率ハ順次、急低下シ、病竈ノ病型モ、  
初期浸潤及ビ肋膜炎ヲ主トシ、ソレニ少數ノ肺  
外結核ヲ發見スルノミデアル。

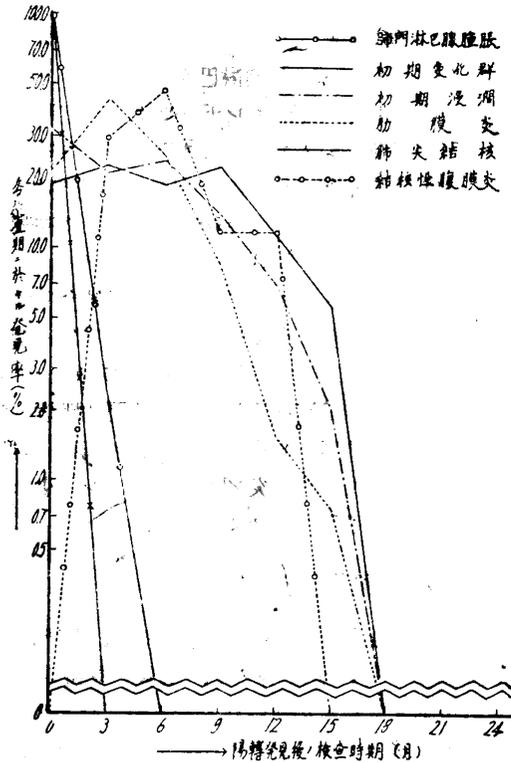
就イテ觀ルト 第 54 表ニ示ス様デ、肺門淋巴腺  
腫脹全發見例 85 例ノ中、陽轉發見時既ニ、83  
例即チ其 98%迄ヲ發見シタ。他ノ残り 2 例ハ、  
ソノ後 3 ヶ月ニ發見シタモノデ、4 ヶ月以上ヲ

第 54 表 肺門淋巴腺腫脹發見迄ノ期間(其一)  
(最終陰性時ヨリ陽轉發見迄 0—3 ヶ月ノ例)

検査時期		陽轉發見時	陽轉發見後 1—3 ヶ月	4—24 ヶ月	計 (肺門淋巴腺腫脹)	
					實 數	全數ニ對スル %
諸他ノ病竈						
諸竈ナイ 他ヲ認 病メノ	一 側	75	2		77	90.59±3.17
	兩 側	1			1	1.18±1.17
諸認メル 他ノ病 竈ヲ	肋 膜 炎	同 側	7		7	8.24±2.98
		他 側			0	
		兩 側			0	
	ソノ他	83	2	0	85 *(4.46±0.47)	100.0
計	實數全數ニ 對スル%	97.65±1.64	2.35±1.64		100.0	

\* ( ) 内ハ陽轉發見迄 0—3 ヶ月ノ者、總數 1906 名ニ對スル%

第 20 圖 病型別發見迄ノ期間(其一)  
(最終陰性時ヨリ陽轉發見迄 0—3 ヶ月ノ例)



經テ始メテ發見シタ例ニハ、陽轉發見後 2 年以上モ觀察中デアルガ、未ダ 1 例モ、遭遇シテ居ナイ。コノ關係ヲ圖示スルト第 20 圖ニ示ス如ク、モトヨリソノ發見率曲線ハ、陽轉發見時ヨリ急傾斜ヲ爲シテ下降スルノヲ觀ル。

尙、肺門淋巴腺腫脹ハ、スベテ、陽轉發見後始メテノ病竈デ、同伴スル諸他竈ハ、何レモ之ト同時若シクハ、ソノ後ニ起ツタモノ丈デ、諸他ノ病竈ニ續發乃至後發シタ例ハ未ダ 1 例モ見ナイ。

次ギニ陽轉發見迄 3 ヶ月以内ノ例モ含メ、12 ヶ月以内ノ全例ニ就イテ同様ニ取扱ツテ見ルト、第 55 表及ビ第 21 圖ニ示ス如クデ、3 ヶ月以内ノモノ丈ニ就イテト同様ノ關係ヲ認メタ。モトヨリ、前章ニ於テモ觸レタ如ク、陽轉發見迄 4—12 ヶ月ノモノデアツテ、ソノ陽轉ヲ發見シタ時期ハ殆ンドスベテ冬及春デ、秋ニ當ツタ例ハ 1 例モナカッタ。何レニセヨ、矢張り、肺門淋巴腺腫脹全發見例 130 例中、陽轉發見時、其 98% 迄ヲ既ニ發見シ、残り 2 例ハソノ後 3 ヶ月ニ見出シタ。以後ハ、新發見例ハ未ダ認メテ居ナイ。從ツテ、ソノ曲線モ、陽轉發見時カラ急

第 55 表 肺門淋巴腺腫脹發見迄ノ期間(其二) (最終陰性時ヨリ陽轉發見迄 0—12 ヶ月ノ例集計)

検査時期		陽轉發見時	陽轉發見後 3 ヶ月	4—24 ヶ月	計 (肺門淋巴腺腫脹)	
					實 數	全數ニ對スル %
諸他ノ病竈	諸竈ナイ	114	2		116	89.28±2.72
	他ヲ認メ病	1			1	0.77±0.77
諸他ノ病竈ヲ認メルモノ	肋膜炎 同側	13			13	10.00±2.63
	肋膜炎 他側				0	
	肋膜炎 兩側	0			0	
	ソノ他				0	
計	實 數	128	2	0	130	*(3.47±0.30)
	全數ニ對スル %	98.46±1.08	1.54±1.08		100.0	

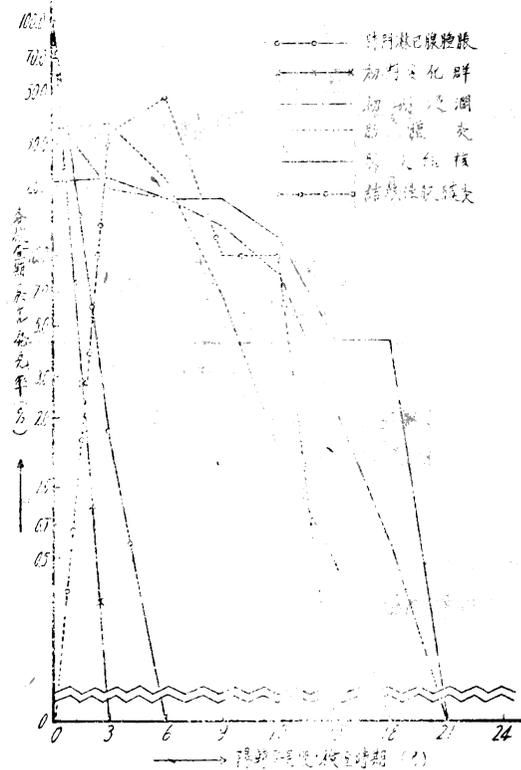
\* ( ) 内ハ陽轉發見迄 0—12 ヶ月ノ者、總數 3745 名ニ對スル%

ト傾斜ヲ描イテ殆ンド一直線ニ下降ス。  
肺門淋巴腺腫脹ニ同伴スル諸他竈モ、何レモ、ソレト同時若シクハ、ソレ以後ニ發見サレタモノ丈デアツタ。

### 第十八章 初期變化群發見迄ノ期間

陽轉發見後、初期變化群ヲ發見スル迄ノ期間ニ就イテハ、次ノ成績ヲ得タ。  
即チ、最終陰性時カラ陽轉發見迄ノ期間0—3ヶ月ノモノニ限定シテ觀ルト、第56表ニ示ス様デ、初期變化群 全發見例 58 例ノ中、ソノ全テが、陽轉發見時ニノミ發見サレ、ソレ以後ニ於テ始メテ發見サレタト言フ例ニハ、未ダ1例ニモ遭遇シテ居ナイ。  
從ソテ、ソノ圖ハ、前掲第20圖ニ觀ル如ク、肺門淋巴腺腫脹ヨリ更ニ一層ノ急傾斜ヲ示シ、同伴スル諸他竈ニ就イテハ、肺門淋巴腺腫脹ト同様、何レモ、初期變化群發見前ニハ見ラレズ、常ニ、ソレト同時若シクハ、ソノアトニノミ發見シタ。  
次ニ陽轉發見迄12ヶ月以内ノ例ヲ同様ニ一括集計スルト、第57表及第21圖ニ示ス様デ、場合モ矢張り、全發見例 104 例ハ、

第 21 圖 病型別發見迄ノ期間(其二)  
(最終陰性時ヨリ陽轉發見迄0—12ヶ月ノ全例)



第 56 表 初期變化群發見迄ノ期間(其一)

(最終陰性時ヨリ陽轉發見迄0—3ヶ月ノ例)

検査時期		陽轉發見時	陽轉發見後 1—24ヶ月	計 (初期變化群)	
				實 數	全數ニ對スル%
諸他ノ病竈	一側	57		57	98.28±1.71
	兩側			0	
諸他認 メナイモノ 病竈	肋膜炎 同側	1		1	1.72±1.71
	肋膜炎 他側			0	
	ソノ他 兩側			0	
	ソノ他			0	
計	實 數	58	0	58	*(3.04±0.39)
	全數ニ對スル%	100.0		100.0	

\* ( ) 内ハ最終陰性時ヨリ陽轉發見迄0—3ヶ月ノ者總數 1906 名ニ對スル%

第 57 表 初期變化群發見迄ノ期間(其二)  
(最終陰性時ヨリ陽轉發見迄 0—12 ヶ月ノ例集計)

検査時期		陽轉發見時	陽轉發見後 1—24 ヶ月	計 (初期變化群)	
				實 數	全數ニ對スル%
諸他ノ病竈					
諸他ノ病竈ヲ	一 側	98		98	94.23±2.29
認メナイモノ	兩 側			0	
諸ヲノ 他認 ノメ 病ル 竈モ	肋 同 側	6		6	5.77±2.29
	膜 他 側			0	
	炎 兩 側			0	
	ソ ノ 他			0	
計	實 數	104	0	104	100.0
	全數ニ對スル%	100.0		*(2.78±0.27)	100.0

\* ( ) 内ハ陽轉發見迄 0—12 ヶ月ノ者總數 3745 名ニ對スル%

スベテ、陽轉發見時ニノミ發見サレテ居ル。又、カ、若クハ、ソノ後ニ起ツタモノ丈デアツタ。同伴スル諸他竈トスベテ、初期變化群ト同時ニ

### 第十九章 初期浸潤發見迄ノ期間

第 16 章ニ於テハ、陽轉發見後始メテ發見シタ病竈ノ病型ガ初期浸潤ヲ示ス場合ノミニ就イテモノデアツタガ、本章ニ於テハ、假令如何ナル諸他竈ニ始メツタニシテモ、ソレニハ關係ナク、即チ、其發見前ノ諸他竈ノ有無ハ顧慮セズニ、初期浸潤ヲ發見スル迄ノ期間ニ就イテ觀察シタモノデ、概略次ノ様デアル。

最終陰性時カラ陽轉發見迄 3 ヶ月以内ノ例デハ、發見セル初期浸潤 100 例中、陽轉發見時ニ 32 例 (32%) 後 3 ヶ月 21 例 (21%) 6 ヶ月 24 例 (24%) 9 ヶ月 14 例 (14%) 12 ヶ月 7 例 (7%) 15 ヶ月 2 例 (2%) デ、ソノ後ハ未ダ發見シテナイ。之ヲ圖示スルト、前掲第 20 圖ノ様デ陽轉發見時最高率デアルガ、肺門淋巴腺腫脹例程著明デハナク以後ハ、初メ緩慢、後稍々急ニ低率ヲ走

ツテ下向ス。併シ、何レニセヨ、6 ヶ月以内ニ、ソノ 77% ガ發見サレタ。

陽轉發見迄ノ間隔ヲ延バシテ 12 ヶ月以内ノモノヲスベテ括シテ、同様ニ取り扱フト第 59 表ニ示ス様デ、發見全 180 例中、陽轉發見時 39% 後 3 ヶ月 19%、6 ヶ月 17%、9 ヶ月 13%、12 ヶ月 8%、15 ヶ月 2%、18 ヶ月 1% ヲ發見シ、第 21 圖ニモ觀ル如ク、亦肺門淋巴腺腫脹及ビ初期變化群等トハ趣キヲ異ニシ、陽轉發見時ニ於テモ、ソレ程著明ナ高率ヲ示サズ、以後ハ、始メ比較的緩慢ニ漸次稍々急ニソノ率ヲ減ズルヲ觀ル。併シ、6 ヶ月以内ニ其 75% ヲ發見スル。要スルニ、以上ヲ通覽スルト、矢張り、陽轉發見迄 3 ヶ月以内ノ例丈ニ就イテト殆ンド同傾向ヲ示シテ居ル。

### 第二十章 肋膜炎發見迄ノ期間

本章ニ於テモ、諸他ノ病竈發見後ニ續發乃至後發シタ例ヲモ含メ、即チ、其發見前ノ諸他竈ノ有無ニハ關セズニ、肋膜炎ガ、要スルニ、如何ナル時期ニ多ク發見サレルカラ觀察シタモノデアル。

最終陰性時カラ陽轉發見迄 3 ヶ月以内ノ例丈デハ、第 60 表ニ示ス如ク、肋膜炎發見全例 131 例中、陽轉發見時 28 例 (21%) ソノ後 3 ヶ月 56 例 (43%) 6 ヶ月 33 例 (25%) 9 ヶ月 11 例 (8%) 12 ヶ月 2 例 (2%) 15 ヶ月 1 例 (1%) デソノ後ハ

第 58 表 初期浸潤發見迄ノ期間(其一) (最終陰性時ヨリ陽轉發見迄 0-3 ヶ月以内ノ例)

検査時期	陽轉發見時ヨリ陽轉發見迄ノ期間(其一)							計 (初期浸潤)	
	陽轉發見時 3 ヶ月	6 ヶ月	9 ヶ月	12 ヶ月	15 ヶ月	18 ヶ月	19-24 ヶ月	實 數	全數ニ對スル %
諸他ノ病竈	3	3	5	1				12	12.00±3.25
肺門淋	2	2		1				5	5.00±2.18
諸他ノ病竈	1							1	1.00±0.99
肺門淋				1				1	1.00±0.99
肺門淋								0	
肺門淋	4	4				2		10	10.00±3.00
肋膜炎	1	1	1					3	3.00±1.77
諸他ノ病竈	1	2						3	3.00±1.77
肋膜炎				1				1	1.00±0.99
諸他ノ病竈	28	11	4	3				58	58.00±4.94
認メナイモノ	1	1	1	1				4	4.00±1.96
計 實 數	32	24	24	7	2	0		100	100.0
全數ニ對スル%	32.00±4.66	24.00±4.27	24.00±4.27	7.00±3.47	2.55±2.00	±1.40		100.0	*(5.25±0.51)

\* ( ) 内ハ陽轉發見迄 0-4 ヶ月以内ノ者總數 1906 名ニ對スル%

註 諸他ノ病竈ハ陽轉發見時以後始メテ發見サレタ病竈ニツイテモノデアリ、又、同、他、兩側ハ當該病竈ニ對スル初期浸潤發見側ヲ示ス

第 59 表 初期浸潤發見迄ノ期間(其二) (最終陰性時ヨリ陽轉發見迄 4 ヶ月以内ノ例集計)

検査時期	陽轉發見時ヨリ陽轉發見迄ノ期間(其二)							計 (初期浸潤)	
	陽轉發見時 3 ヶ月	6 ヶ月	9 ヶ月	12 ヶ月	15 ヶ月	18 ヶ月	19-54 ヶ月	實 數	全數ニ對スル %
諸他ノ病竈	3	3	6	1				13	7.22±1.93
肺門淋	2	2		1				5	2.78±1.23
諸他ノ病竈	1							1	0.56±0.56
肺門淋	1			1				2	1.11±0.78
肺門淋								0	
肺門淋	7	4	4		3	1		22	12.22±2.44
肋膜炎	1	1	2	2				7	3.89±1.44
諸他ノ病竈	2	2	2	1				8	4.44±1.54
認メナイモノ	58	18	8	8				111	61.67±3.62
諸他ノ病竈	2	1	1	2				10	5.56±1.71
計 實 數	70	35	24	15	4	1	0	180	100.0
全數ニ對スル%	38.89±3.63	19.44±2.95	13.33±2.53	8.33±2.06	2.22±1.10	0.56±0.56		100.0	*(4.81±0.35)

\* ( ) 内ハ陽轉發見迄 12 ヶ月以内ノ者、總數 317 名ニ對スル%

註 諸他ノ病竈ハ陽轉發見時以後始メテ發見サレタ病竈ニツイテモノデアリ、又、同、他、兩側ハ當該病竈ニ對スル初期浸潤發見側ヲ示ス

第 60 表 肋膜炎發見迄ノ期間(其一) (最終陰性時ヨリ陽轉發見迄 0-3 ヶ月ノ例)

検査時期 諸他ノ病竈	陽轉發見時						陽轉發見迄						計 實 數	(肋膜炎) 全數ニ對スル %
	6 ヶ 月	3 ヶ 月	6 ヶ 月	9 ヶ 月	12 ヶ 月	15 ヶ 月	16-24 ヶ 月	6 ヶ 月	9 ヶ 月	12 ヶ 月	15 ヶ 月	16-24 ヶ 月		
諸他ノ病竈	6			3									18	13.74±3.01
肺門淋巴													0	0.76±0.78
諸他ノ	1												1	0.76±0.78
腺腫脹	1			4	1								11	8.40±2.42
病竈ヲ認				1									1	0.76±0.78
メナルモ	4			3	1								12	9.16±2.53
初期浸潤													0	
諸他ノ													0	
病竈ヲ一													4	3.05±1.51
認メナイモ	16			22	6	1							81	61.83±4.25
計	28	56	33	11	2	1	0						131	2.29±1.31
全數ニ對スル%	21.37±3.58	42.75±4.32	25.19±3.79	8.40±2.42	1.53±1.06	0.76±0.78							100.0	

\* ( ) 内ノ陽轉發見迄 0-3 ヶ月ノ者、總數 1906 名ニ對スル%

註 諸他ノ病竈ハ陽轉發見時以後始メテ發見シタ病竈ニツイテノモノデアリ、又同、他、兩側ハ當該病竈側ニ對スル肋膜炎發見側ヲ示ス

第 61 表 肋膜炎發見迄ノ期間(其二) (最終陰性時ヨリ陽轉發見迄 12 ヶ月以内ノ例集計)

検査時期 諸他ノ病竈	陽轉發見時						陽轉發見迄						計 實 數	(肋膜炎) 全數ニ對スル %	
	12 ヶ 月	6 ヶ 月	3 ヶ 月	6 ヶ 月	9 ヶ 月	12 ヶ 月	15 ヶ 月	16-24 ヶ 月	6 ヶ 月	9 ヶ 月	12 ヶ 月	15 ヶ 月			16-24 ヶ 月
諸他ノ病竈	12	10		4										26	12.21±2.24
肺門淋巴														0	0.74±0.47
諸他ノ	1													1	0.47±0.47
腺腫脹	6			4	1	1								20	9.39±2.00
病竈ヲ認				1	1									1	0.47±0.47
メナルモ	9	3	3	3	2	1								19	8.92±1.95
初期浸潤	1	1	1											2	0.94±0.66
諸他ノ														1	0.47±0.47
病竈ヲ一														5	2.35±1.04
認メナイモ	43	48	32	8	1									132	61.97±3.33
計	73	77	45	14	3	1	0							213	2.35±1.04
全數ニ對スル%	34.27±3.25	36.15±3.29	21.13±2.80	6.57±1.70	1.41±0.81	0.47±0.47								100.0	

\* ( ) 内ハ陽轉發見迄 12 ヶ月以内ノ者、總數 3745 名ニ對スル%

註 諸他ノ病竈ハ陽轉發見時以後始メテ發見シタ病竈ニツイテノモノデアリ、又、同、他、兩側ハ當該病竈側ニ對スル肋膜炎發見側ヲ示ス

未ダ發見ヲ見ナイ。即チ、前掲第20圖ニモ觀ル様ニ、肋膜炎ニ於テハ、肺門淋巴腺腫脹、初期變化群ハモトヨリ、初期浸潤トモ多少趣キヲ異ニシ、陽轉發見時ヨリモ寧ろ、陽轉發見後3ヶ月ニ於テ比較的高率ヲ示シ、後稍々急ニソノ率ヲ減ズルヲ觀ル。併シ、何レニセヨ、6ヶ月以内ニ其89%迄モ發見シタ。

陽轉發見迄12ヶ月以内ノ例ヲ一括シテ、同様ニ取り扱ツテモ、第61表ニ見ル如ク、全213例中、陽轉發見時34%ソノ後3ヶ月36%、6ヶ月21%、9ヶ月7%、12ヶ月1%、15ヶ月

0.5%ヲ示シ、矢張り、陽轉發見迄3ヶ月ノ例丈ニ就イテト同様、其91%迄ヲ6ヶ月以内ニ發見シタ。勿論、併シ、此場合ニハ、陽轉發見時トソノ後3ヶ月トノ間ニハ大差ナク、即チ陽轉發見迄ノ期間ガ長カツタ丈ニ、ソノ間、陽轉發見時ノ側ニ多少蓄積移行シタ様ナ傾向ヲモシテルカノ如ク見エル。

要スルニ、何レニセヨ、肋膜炎ハ、陽轉發見後6ヶ月以内ニ其89—91%モ發見サレテ居ルガ觀取サレル。

### 第二十一章 肺尖結核竈發見迄ノ期間

陽轉發見後始メテ肺尖野ニ結核竈ヲ發見スル迄ノ期間ニ就イテハ、概略、次ノ成績ヲ得タ。

最終陰性時カラ陽轉發見迄ケ3ヶ月以内ノモノニ局限シテ見ルト、第62表及ビ第20圖ニ示ス如ク、全發見例53例中、陽轉發見時ニ10例(19%)ソノ後3ヶ月12例(23%)、6ヶ月10例(10%)、9ヶ月12例(23%)12ヶ月6例(11%)15ヶ月3例(6%)ヲ發見シ、他ノ病型ト異リ、稍々緩慢ニ低率トナルガ、屯ニ角6ヶ月以内ニ其61%ヲ發見シタ。ソノ中デモ、諸他ニ病竈ヲ伴ハナイ肺尖竈ノミノ例ハ、6ヶ月以内ノ感染早期ニ、11%モ發見サレテ居ルガ、此ハ、注目ニ値ヒスル。

次ニ陽轉發見迄12ヶ月以内ノモノヲ全例一括シテ見ルト、第63表及ビ第21圖ニ示ス如ク、肺尖結核全發見例92例ノ中、陽轉發見時ニ22

%、ソノ後3ヶ月23%、6ヶ月17%、9ヶ月亦17%、12ヶ月12%、15ヶ月4%、18ヶ月亦4%ヲ示シソノ後ハ未ダ發見シテ居ナイガ、矢張り、緩慢ニ、ソノ率ヲ低下スル。併シ、6ヶ月以内ニ其62%迄モ發見シ、又肺尖竈ノミノモノハ、ソノ中、12%モ占メテ居ル。要スルニ、以上ヲ通覽スルト、陽轉發見3ヶ月以内ニ見出シタモノ丈ニ就イテモ、間隔ヲ12ヶ月ニ延バシテソレ以内ノ全例ヲ集計シテモ、6ヶ月以内ノ極ク早期ニ61乃至62%ヲ發見シ、シカモ、ソノ中、肺尖ノミノ症例ガ11—12%ヲ占メテ、何レモ、ソノ間大差ヲ見出シ得ナイ。即チ、X線検査カラ見ルト、感染後極メテ早期ニモ、肺尖ノミニ病竈ガ現レル場合ガ一割附近存在スルコトヲ、確認シ得タト思フ。

### 第二十二章 結核性腹膜炎發見迄ノ期間

結核性腹膜炎ニ就イテハ、未ダ發見例ガ少ク、從ツテ統計學上有意的ナ觀察ハ困難ナルガ簡單ニ中間報告スル。

最終陰性時カ陽轉發見迄0—3ヶ月ノ例丈ニ就イテハ、第64表ニ觀ル如クデ、發見シタ腹膜炎ハ僅カ17例ニ過ギナイガ、陽轉發見時ニハ1例モ發見セズ、陽轉發見後3ヶ月ニ至ツテ始メテ5例(29%)、6ヶ月8例(47%)、9ヶ月2

例(12%)12ヶ月亦2例(12%)ヲ發見シタガ、ソノ後ハ未ダ發見ヲ見ナイ。從ツテ、ソノ曲線(第20圖)ハ、6ヶ月登山ヲ描イテ居ル。併シ、何レニセヨ、6ヶ月以内ニ其76%迄ヲ發見シテ居ル。

陽轉發見迄12ヶ月以内ノ例ヲ全例集計シテモ21例ニ過ギナイガ、矢張り、第65表ニ示ス如ク、陽轉發見時ニハ、見出シテ居ナイ。ソノ後

第62表 肺尖結核癩癩發見迄ノ期間(其一) (最終陰性時ヨリ陽轉發見迄0-3ヶ月ノ例)

諸他ノ病癩	在時期	陽轉發見迄ノ期間(其一)						實	計 (肺尖結核) 全數ニ對スル%
		陽轉發見時 3ヶケ月	陽轉發見後 6ヶケ月	9ヶケ月	12ヶケ月	15ヶケ月	16-24ヶ月		
肺門	同側			3	2	1	1	7	13.21±4.65
淋巴腺腫脹	他側							0	
諸他ノ病癩	兩側		1					1	1.89±1.87
(初肺尖癩癩ヲ變態化シテ含マズ)	同側	4	4					8	15.09±4.92
	他側			1				1	1.89±1.87
	兩側			1	1			2	3.77±2.62
諸他ノ病癩ヲ認ムルモノ	同側	4	4	1	7	4	1	21	39.62±6.72
	他側					1		1	1.89±1.87
	兩側		2					2	3.77±2.62
助膜炎	同側			1	1		1	3	5.66±3.17
	他側							0	
	兩側							0	
諸他ノ病癩ヲ認メナイモノ	一側	2	1	2	1			6	11.32±4.34
	兩側			1				1	1.89±1.87
計	實數	10	12	10	12	6	3	53	100.0
	全數ニ對スル%	18.87±5.37	22.64±5.75	18.87±5.37	22.64±5.75	11.32±4.35	5.66±3.17	100.0	*(2.78±0.38)

\* ( ) 内ハ陽轉發見迄0-3ヶ月ノ者、總數1906名ニ對スル%  
 註 諸他ノ病癩ハ陽轉發見時以後始メテ發見シタ病癩ニツイテノモノデアリ又同他、兩側ハ當該病癩ニ對スル肺尖結核癩ヲ示ス





3ヶ月ニ始メテ其33%、6ヶ月ニ48%、9ヶ月10%、10ヶ月亦10%ヲ發見シ、陽轉發見後6ヶ月以内ニ其81%迄ヲ發見シテ居ル。第21圖ニ曲ヲ描イテミタガ、モトヨリ3ヶ月以内ノ例ト同型ヲ示ス。

要フルニ、結核性腹膜炎ハ、陽轉發見時ニハ、發見シ得ナカツタガ、ソノ後3ヶ月ニシテ漸ク見出サレ、6ヶ月迄ハ比較的多ク、ソノ後再び減少スル傾向ヲ示シタ。

### 第十六章ヨリ第二十二章迄ノ小括

15—25歳ノ青年ニ施行シタ陽轉發見後3ヶ月毎ノ精密檢診成績ノ中、病竈發見迄ノ期間ニ就イテ中間報告スルト、概要次ノ様デアル。

I. 陽轉發見後始メテ發見シタ病竈例ノミニ就イテ。

a) 發見迄ノ期間ヲ觀ルト、3ヶ月以内ニ陽轉ヲ發見シタ例ニ就イテハ、陽轉發見時ニ既ニ其10%ニ病竈ヲ發見シタガ、ソノ他ノ非發見例カラハ、次ノ3ヶ月ニ4%、更ニ此時ノ非發見例カラ次ノ3ヶ月即チ陽轉發見後6ヶ月ニ3%、同様ニシテ、9ヶ月ニ1%、12ヶ月ニ約1%ヲ發見シタ。然ルニ、ソノ後ニ至ツテハ、陽轉發見後2ヶ年以上ヲ經過シテ居ルガ未ダニ新發見例ニハ遭遇シテ居ナイ。即チ、陽轉時カラノ時間的距離ニ逆比例シテ病竈發見率ガ急ニ低ク降ルヲ見ル。コノ傾向ハ、陽轉ヲ4—6ヶ月以内ニ見出シタモノニ就イテモ、更ニ間隔ヲ延バシテ、12ヶ月以内ノモノ全例ヲ含メテモ、同様、著明デアツタ。

b) 病竈發見例ノミニ就イテ見ルト、陽轉發見迄3ヶ月以内ノ例デハ、陽轉發見時其63%、ソノ後3ヶ月20%、6ヶ月12%、9ヶ月4%、12ヶ月2%ヲ發見シ、即チ、6ヶ月迄ニ、94%ヲ既ニ見出シタ。4—6ヶ月以内ノ例デハ、93%、12ヶ月以内ヲ全例集計スルト亦94%デ、要スルニ、6ヶ月以内ノ感染早期ニ其9割餘モ發見シテ居ル。

c) 病型別デハ、陽轉發見時ニ發見サレル病竈トシテハ、陽轉ヲ3ヶ月以内ニ見出シタ例ニ於テ、肺門淋巴腺腫脹4%、初期變化群3%ヲ發見シ、比較的高率デアルガ、ソノ後3ヶ月ニ於テハ、初期變化群ハ見出サレズ、肺門淋巴腺腫

脹モ僅カ0.1%ヲ示スニ過ギナイニ反シ、初期浸潤1%肋膜炎3%ヲ示シ、肺外結核ニ少數例(0.3%)乍ラ、始メテ、コノ期ニ發見サレタ。更ニ6ヶ月ニ於テハ、肺門淋巴腺腫脹モ見出サレズ、9ヶ月、12ヶ月ニ至ルト、殆ンド全テ初期浸潤及ビ肋膜炎ノミ、發見サレテ居ル。コノ關係ハ、陽轉發見迄4—6ヶ月以内ノ例デモ、12ヶ月以内ノ全例ヲ含メテモ、矢張り、同様デアル。

II. 陽轉發見後始メテノ病竈デアルト、ソレニ續發シタモノデアルト、ソレニハ拘ラズ各病型夫々ニ就イテ。

a) 肺門淋巴腺腫脹ハ、陽轉發見迄3ヶ月以内ノ例デモ、12ヶ月以内ノ全例ヲ含メテモ同様ニ、陽轉發見時、其98%迄ニ發見シ、其他モ後3ヶ月ニハ、スベテ發見サレ、4ヶ月以上ヲ經テカラノ新發見例ハ、未ダ1例モ存在シナイ。即チ、肺門淋巴腺腫脹ハ、陽轉發見時ニ殆ンド全テ發見サレ、ソノ後4ヶ月以上モ經テカラ始メテ發見サレル様ナコトハ無カツタ。尚、同伴スル諸他竈ハ、ソレト同時若シクハ其後ニモ發見サレ、諸他竈ニ續發乃至後發シタ例ハ未ダ見ナイ。

b) 初期變化群モ同様デアルガ、此ハスベテ、陽轉發見時ニ100%發見サレ、ソノ後ニハ1例モ見出サレナカツタ。

c) 初期浸潤ハ、陽轉發見迄3ヶ月以内ノ例デハ、陽轉發見時32%、後3ヶ月21%、6ヶ月24%、9ヶ月14%、12ヶ月7%、15ヶ月2%ヲ發見シ、6ヶ月迄ハ、稍々緩慢デアアルガ、其77%ヲ發見シテ居ル。12ヶ月以内ノ全例デモ陽轉發見後6ヶ月迄ニ其75%ヲ發見シタ。

d) 肋膜炎ハ、陽轉發見迄 3 ヶ月以内ノ例デハ、陽轉發見時 21%、後 3 ヶ月 43%、6 ヶ月 25%、9 ヶ月 8%、12 ヶ月 2%、15 ヶ月 1%ヲ發見シタ。即チ 6 ヶ月以内ニ其 89% 迄モ發見シテ居ル。陽轉發見迄 12 ヶ月以内ノ全例ニ就イテモ同様デ、6 ヶ月迄ニ其 91% ヲ發見シテ居ル。

e) 肺尖結核竈ハ、陽轉發見迄 3 ヶ月以内ノ例丈ニ於テ、陽轉發見時 19%、後 3 ヶ月 23%、6 ヶ月 19%、9 ヶ月 23%、12 ヶ月 11%、15 ヶ月 6%ヲ發見シ、即チ 6 ヶ月以内ノ感染早期ニ其 61% 迄モ見出シ、シカモ、ソノ中、諸他竈ヲ同伴シナイ肺尖ノミノ症例ガ 11% モ占メテ居ル。陽轉發見迄 12 ヶ月以内ノ全例ニ就イテモ亦、6 ヶ月以内ノ極ク早期ニ其 62% ヲ、ソノ中、肺尖

ノミノ症例ガ、矢張り 12% モ含マレテ居ル。

f) 結核性腹膜炎ハ、陽轉發見迄 3 ヶ月以内ノ例デハ、陽轉發見時ニハ 1 例モ見出サレナイガ、後 3 ヶ月ニ 29%、6 ヶ月ニ 47%、9 ヶ月 12%、12 ヶ月 12% ヲ發見シ、6 ヶ月以内ニ其 76% 迄モ發見シテ居ル。陽轉發見迄 12 ヶ月以内ノ例ヲスベテ含メテモ、例數ハ少イガ、殆ンド同様デ、即チ、結核性腹膜炎ハ、陽轉發見時ニハ、見出サレナイデ、後 3 ヶ月及ビ 6 ヶ月ノ間ニ、多數發見サレテ居ルヲ觀取シタ。

稿ヲ終ルニ臨ミ、終始御懇篤ナル御指導ト御校閲ヲ賜ツタ豫防會 結核研究所研究部長 岡治道博士竝ビニ日本醫療團中野療養所 隈部英雄氏ニ對シ謹シテ深甚ナル謝意ヲ表ス。